

NFD 西臼杵消防だより

第17号



令和6年7月

//////////////// 2024 年度 全国統一防火標語 //////////////////

「守りたい 未来があるから 火の用心」

We save lives

contents

P2 --- 消防職員意見発表会

特集 熱中症対策

P3 --- 熱中症の判断と応急処置

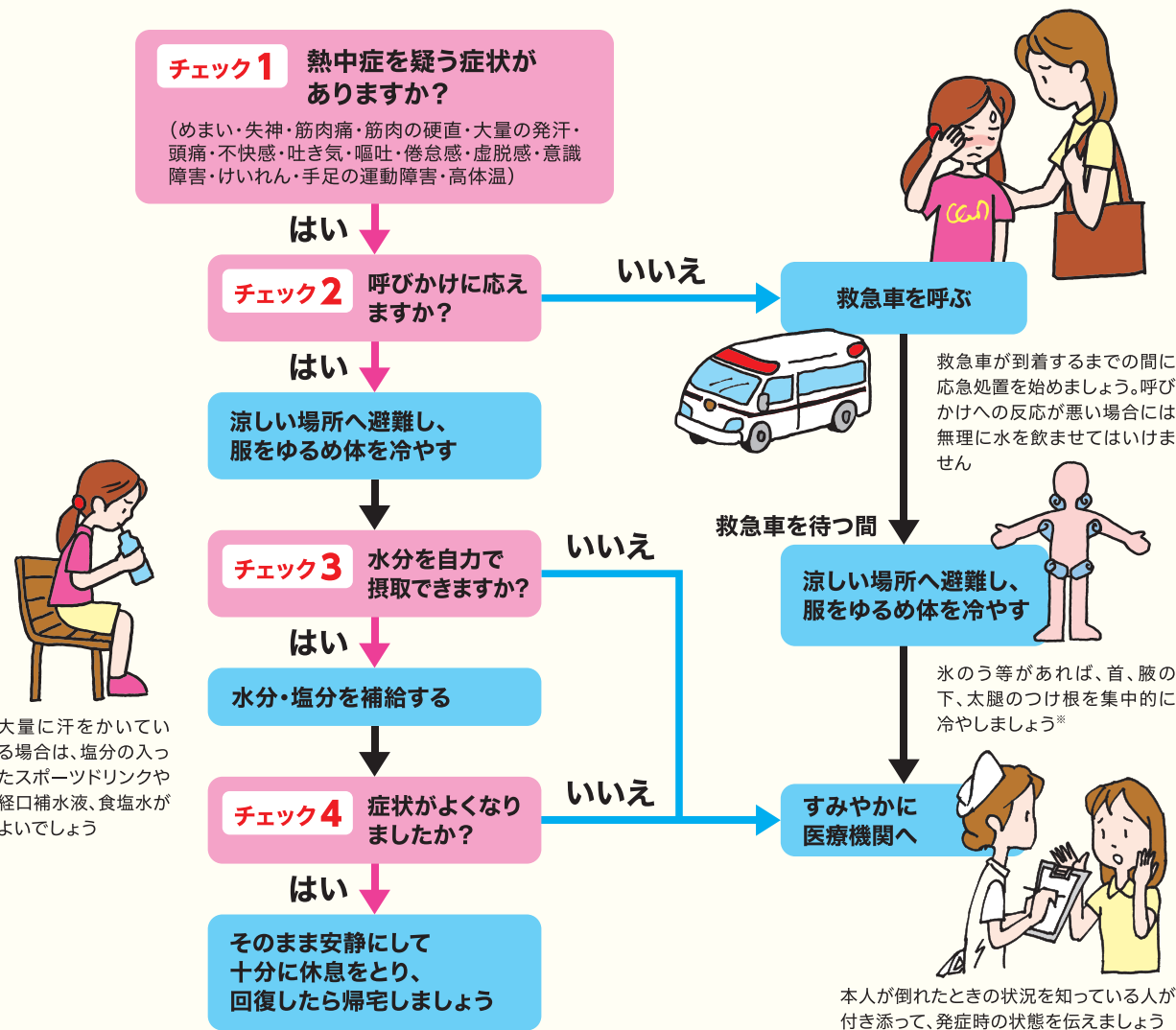
P4 --- 令和6年度 新規採用職員

主な行事予定



熱中症の応急処置

もし、あなたのまわりの人が熱中症になってしまったら……。
落ち着いて、状況を確認して対処しましょう。最初の処置が肝心です。



※スポーツや激しい作業・労働等によって起きる労作性熱中症の場合は、全身を冷たい水に浸す等の冷却法も有効です。

コラム “どこを冷やすか？”

文中やイラストでも示しているように、体表近くに太い静脈がある場所を冷やすのが最も効果的です。なぜならそこは大量の血液がゆっくり体内に戻っていく場所だからです。具体的には、頸部の両側、腋の下、足の付け根の前面（鼠径部）等です。そこに保冷剤や氷枕（なければ自販機で買った冷えたペットボトルやかち割り氷）をタオルでくるんで当て、皮膚を通して静脈血を冷やし、結果として体内を冷やすことができます。冷やした水分（経口補水液）を摂らせることは、体内から体を冷やすとともに水分補給にもなり一石二鳥です。また、濡れタオルを体にあて、扇風機やうちわ等で風を当て、水を蒸発させ体と冷やす方法もあります。

熱が出た時に顔の額に市販のジェルタイプのシートを張っているお子さんをよく見かけますが、残念ながら体を冷やす効果はありませんので、熱中症の治療には効果はありません。

宮崎県消防職員意見発表会

4月11日（木）、日南市文化センターにおいて開催された「宮崎県消防職員意見発表会」で、甲斐友喜消防士長が、「地域消防課の結成」をテーマに西臼杵広域消防本部の代表として発表しました。今後、定年延長者が増えていく職場で、近い将来、当消防本部も直面するであろう課題や、それに対して必要な取り組みなどについて熱く語ってくれました。

この意見発表会は、消防職員が普段の業務を通じて感じたことや、業務改善、住民サービス向上に対する提言などを発表するもので、県内10消防本部の代表者11名が参加し発表しました。



特集 熱中症に気をつけて！

全国で熱中症の救急搬送が増えています。西臼杵消防本部管内では、令和5年中に熱中症で19人の方が救急車で搬送されています。

令和5年中 西臼杵消防管轄内熱中症搬送患者数人数（5月1日～9月30日）

	5月	6月	7月	8月	9月	合計
人数	0	2	5	9	3	19

実は「室内熱中症」救急搬送者数トップ！

室内は日差しを直接浴びないため、「熱中症になるわけがない・・・」とつい油断しがち！

しかし、総務省消防庁によると、昨年（2023年）の熱中症のうち、約4割が住居で発生しているのです。原因としては、

- ・部屋の風通しが悪く、室温や湿度が高い。
- ・水分補給をしていない。
- ・夜間に冷房を使わずに寝ている間に気温が上がった。
- ・屋外で活動後に体を冷やすことができなかった。

などが挙げられます。特に火を使うキッチン、冷房のない部屋、汗をかきやすい入浴時、夜間に室温が上がりやすい睡眠時、庭やベランダでの作業時は注意が必要です。



高齢者は特に注意が必要です

1 体内の水分が不足しがちです

高齢者は若年者よりも体内の水分量が少ない上、体の老廃物を排出する際にたくさんの尿を必要とします。

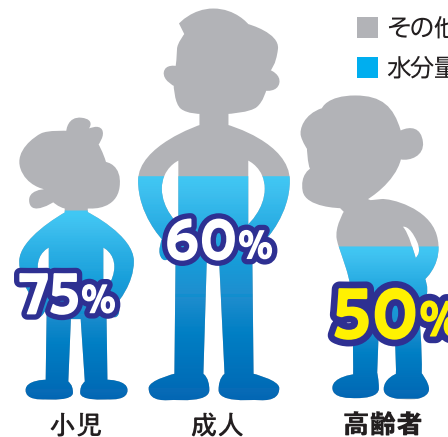
2 暑さに対する感覚機能が低下しています

加齢により、暑さやのどの渇きに対する感覚が鈍くなります。

3 暑さに対する体の調節機能が低下します

高齢者は体に熱がたまりやすく、暑い時には若年者よりも循環器系への負担が大きくなります。

体内の水分量 「輸液・栄養ハンドブック」より作成



令和6年度

新規採用職員

4月から消防本部に新たな仲間が2名加わりました。2名とも宮崎市にある宮崎県消防学校に入校し、9月27日までの約6ヶ月に及ぶ学校生活に入りました。消防学校では、座学や訓練、寮生活などを通じて、消防士としての基礎を学ぶことになります。



甲斐 大夢 (18歳)
①出身：日之影町深角
②趣味：ドラマ鑑賞、映画鑑賞
③一言：住民の皆さんが安心して暮らせるよう、信頼される消防士になります。

芥川 新平 (22歳)
①出身：五ヶ瀬町三ヶ所
②趣味：映画鑑賞、温泉
③一言：多くの事を吸収して、町民だけでなく職場の方々からも頼られる消防士を目指します。

新規採用後のスケジュール

4月～9月

初任科教育

消防の基礎知識
基礎技能の習得

10月～12月

救急科

救急処置に関する
基礎知識の習得 ※救命士除く

1月～2月

所属

新人研修期間として
災害現場で活動

消防学校(初任科教育)のカリキュラム

法律

- ・地方自治法
- ・消防法など

訓練礼式

- ・規律

消防ポンプ

- ・水力学
- ・ポンプ操作

消防活動

- ・放水活動
- ・人命検索訓練

救助救急

- ・ロープ取扱い
- ・救急観察処置

災害件数(令和6年1月～5月)

区分	火災	救急	救助
高千穂町	8 ↑(3)	265 ↓(-12)	2 →(0)
日之影町	2 →(0)	52 ↓(-2)	1 ↓(-2)
五ヶ瀬町	2 ↑(2)	36 ↓(-8)	2 ↑(2)
管轄外	0 →(0)	0 →(0)	0 →(0)
合計	12 ↑(5)	353 ↓(-22)	5 →(0)

※() 内は前年比

主な行事予定

6月

- ・消防救助技術大会署内選考会

7月

- ・指導救命士養成研修
北九州市「救急救命九州研修所」

8月

- ・消防吏員昇任試験(一次試験)
- ・全国消防救助技術大会
千葉縣市原市「千葉県消防学校」